

日本のふるさと。自給自足的循環社会

広報 京丹波 10

NO.144 2017.10.17 発行 TOWN KYOTAMBA



地域のビジネス への挑戦

人

地域の一体感を感じられる

取り組みをしながら、

新たな価値観を持つ人びとを迎え、

一緒に良き伝統を残しつつ、

新たなにぎわいや文化を創つっていくことが、

地域力を上げる鍵になると思います。

にぎわい
(竹野活性化委員会)

共感

- 02 物語をつむぐ里山ブランド
- 04 平成28年度決算の概要
- 08 京丹波町職員の給与の状況
- 10 まちの動き
- 11 いきいき健康術
- 12 まちの話題
- 14 まちの元気人
- 15 こんなときの、この一冊 ほか

物語をつむぐ 里山ブランド 地域ビジネスへの挑戦

竹野活性化委員会(中西和之代表)と京都・丹波食彩の工房を拠点にするNPO法人京都女性起業家協議会(篠原美佐子代表)の連携により、竹野地域の材料などにこだわった加工食品「京都やさいおいる」が誕生。道の駅「京丹波 味夢の里」で販売を始めました。

「京都やさいおいる」は、米油にバジルや九条ネギなどの味や香りを移したフレーバーオイル。NPO法人京都女性起業家協議会(高岡)が独自開発し、昨年11月に「京の食6次産業化コンテスト」でグランプリを受賞しました。

その産地限定版として、竹野地域の人が竹野地域で栽培した野菜だけで作るのが竹野ブランドです。栽培する野菜はスイートバジル、九条ネギ、シヨウガ、タカノツメなど。竹野活性化委員会産業部会を中心に会員が栽培し、同協議会がオイルに加工します。

「地域の農業振興のために加工品を開発・販売する篠原代表らを手伝う内、その真剣な思いに共感し、連携してこうという雰囲気

が生まれた」と山田進産業部会長

(高岡)は振り返ります。産業部会では、委員会の運営資金を得る取り組みを試行錯誤していたところでした。「今春から数軒の農家や団体の農地で作付けた。少しずつ協力者が増えて現在は栽培農家12軒、収穫や包装など工程ごとに協力者がある」。竹野小学校でも授業の一環として、児童がバジル栽培や加工所見学をしました。「農家には原材料の生産が収入になり、商品の売り上げを活性化委員会の活動資金にできる仕組みを検討したい」と交付金制度だけに頼らない地域運営をめざします。

篠原代表らは、NPO法人として竹野ブランドの支援を行いつつ、独自製品「京都やさいおいる」の

販路拡大をめざして、今年7月に株式会社京都ものがたりを設立。9月には京都・丹波食彩の工房に加工設備を増設し、両ブランドの本格的な製造・販売に乗り出しました。

地元の人はなかなか注目しないけれど、里山には手入れされた自然の美しさがあります。ある農家さんが、気持ちの良い日は農作業に疲れたら畑で昼寝すると話された。その光景は童話のよう。そんな作り手の顔、風景の美しさ、素材の良さを「竹野物語」として商品とともに発信したい。四季を感じられて、森林、源泉があり、そういうすべてが揃っている場所だから、物語はたくさん転がっています。商品を通して竹野地域の魅力が伝わり、訪れる人や住む人が増えたなら。(NPO法人京都女性起業家協議会代表 篠原美佐子さん)



急に気温が低下した8月下旬、青々と輝いていたバジルの葉が黄色く変色し、葉裏にカビが発生。寒さが苦手なバジルに急激な気温の変化がこたえたのかもしれません。きれいな葉を選び分けながらの収穫となりました。(「楽笑会」)

栽培に手を上げた人もいれば、収穫の手伝いを申し出る人も。この日は初めて収穫するメンバーが集まり、関さん(右から2人目)に摘み方を教わりました。



朝市への出荷を待つ野菜畑の一角でひとときわ鮮やかなタカノツメ。栽培農家の一人、村田美雪さん(水戸)は「息子が活性化委員会でがんばっているから応援する気持ち」と一本ずつ手摘みします。

手仕事がつながり、生まれる物語

京都女性起業家協議会は、起業をめざす女性らで発足し、京都市内のカフェを拠点に京都府内の女性農業者の農産加工品の開発や販売促進などを支援してきました。平成27年6月、研究実証ができる場所を求めて京都・丹波食彩の工房の一室へ拠点を移し、地元農家の協力を得ながら周辺のほ場で原料栽培に取り組み、着想から5年をかけてフレーバーオイルが完成しました。

地域の人の温かさにあふれる内、「地域の一員となって、ともに活性化をめざそうと思うようになった」と篠原代表。「ここでは皆さんが家族のよう。できるだけ新鮮な野菜をオイルに使いたいと思い、地元の方に栽培してもらえないか相談したところ、さっそく『楽笑会』(松村久雄代表)の方が協力してくださった。昨年の受賞を契機に地域全体で取り組む機運が高まったと感じる」。

地域ビジネスの成功例は多くありません。協議会で商品開発を担う関ナレさんは、「新しい発想が受け

持ち前の絆を強みに

入れられなかったり、地域に昔からある文化・慣習を否定してしまったりしてトラブルになることが原因の一つ」とし、「竹野地域は受け入れる空気が全然違う。私たちの提案に地域全体で応えてくれた」と可能性を感じています。



農家から届いた素材はすぐに洗って加工

平成28年度決算の概要

平成28年度の一般会計決算額は、歳入総額が114億7135万1千円、歳出総額が109億7678万3千円と、歳入歳出ともに前年度決算額を下回り、町が合併した平成18年度決算以後、8番目の決算規模となりました。(表1参照)

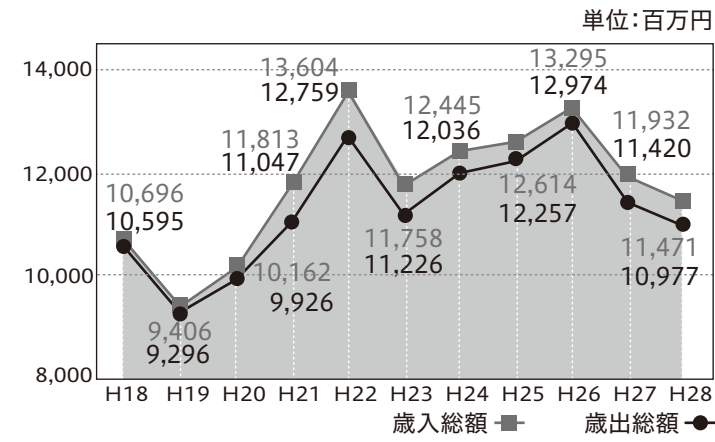
決算収支は、形式収支で4億9456万7千円の黒字。形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し

引いた実質収支は2億4286万6千円の黒字でした。また、実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は6943万6千円の赤字、単年度収支に黒字要素(財政調整基金積立金など)と赤字要素(積立金取崩し額)を差し引きした実質単年度収支は9282万5千円の黒字となりました。

一般会計の町債(地方債)残高は147億89万8千円で前年度比0.2割の減、基金残高は46億2268万2千円で前年度比2.2割の増でした。

なお、一般会計などの人件費や扶助費などの経常経費が、経常的な一般財源に占める割合である経常収支比率(表2)は、地方税や地方交付税の減額により86.4割となり、前年度比2.5割の増でした。

(表1) 一般会計歳入歳出決算額の推移



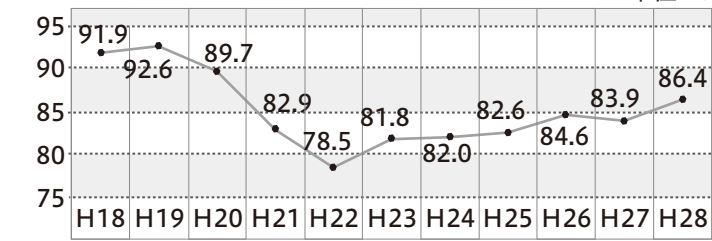
平成28年度の一般会計決算額は、歳入総額が114億7135万1千円、歳出総額が109億7678万3千円と、歳入歳出ともに前年度決算額を下回り、町が合併した平成18年度決算以後、8番目の決算規模となりました。(表1参照)

決算収支は、形式収支で4億9456万7千円の黒字。形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は2億4286万6千円の黒字でした。また、実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は6943万6千円の赤字、単年度収支に黒字要素(財政調整基金積立金など)と赤字要素(積立金取崩し額)を差し引きした実質単年度収支は9282万5千円の黒字となりました。

一般会計の町債(地方債)残高は147億89万8千円で前年度比0.2割の減、基金残高は46億2268万2千円で前年度比2.2割の増でした。

なお、一般会計などの人件費や扶助費などの経常経費が、経常的な一般財源に占める割合である経常収支比率(表2)は、地方税や地方交付税の減額により86.4割となり、前年度比2.5割の増でした。

(表2) 経常収支比率の推移



単位:千円

会計名	歳入総額	歳出総額	形式収支
特別会計	7,448,815	7,094,001	354,814
国民健康保険事業特別会計	2,264,615	2,191,387	73,228
後期高齢者医療特別会計	219,093	216,422	2,672
介護保険事業特別会計 事業勘定	2,200,599	2,120,457	80,142
介護保険事業特別会計 サービス事業勘定	8,605	5,725	2,880
介護保険事業特別会計 老人保健施設サービス勘定	167,882	166,811	1,071
水道事業特別会計	1,579,307	1,395,041	184,267
下水道事業特別会計	909,535	899,314	10,221
土地取得特別会計	168	168	0
育英資金給付事業特別会計	2,745	2,745	0
町営バス運行事業特別会計	96,265	95,931	334
企業会計(税込)	1,085,379	1,426,679	-341,300
国保京丹波町病院事業会計	1,085,379	1,426,679	-341,300

特別会計の決算額

財政健全化判断比率などの状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、「健全化判断比率」による四つの財政指標と「資金不足比率」により、地方公共団体の財政状況を判断します。これらの指標が基準を一つでも超えると、財政健全化への取組みが義務付けられます。本決算で基準を超える指標はありませんでした。

用語説明

【標準財政規模】
地方公共団体の一般財源(町税や普通交付税など)の標準的な規模を示すもの。本町は平成28年度決算で70億1,009万1千円。

【早期健全化基準】
基準値を一つでも超えると、自主的な改善努力を行なうための早期健全化計画策定や外部監査が義務付けられる。

【財政再生基準】
基準値を一つでも超えると、国などが関与して再生が行なわれるため、町独自施策の展開ができなくなるとともに、財政再生計画策定や外部監査が義務付けられる。

資金不足比率

公営企業の資金不足額の事業の規模に対する割合。本町の対象会計は、国保京丹波町病院・水道・下水道の3会計で、いずれも資金不足額がないため該当なし。

連結実質赤字比率

全会計(財産区会計を除く)の赤字額の標準財政規模に対する割合。いずれの会計も黒字のため該当なし。

実質赤字比率

一般会計などの赤字額の標準財政規模に対する割合。実質収支が黒字のため該当なし。

実質公債費比率

一般会計などの公債費(借入金の償還金)の標準財政規模などに対する割合。算定結果は14.2割でした。

将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき公債費などの債務の標準財政規模などに対する割合。算定結果は121.0割でした。

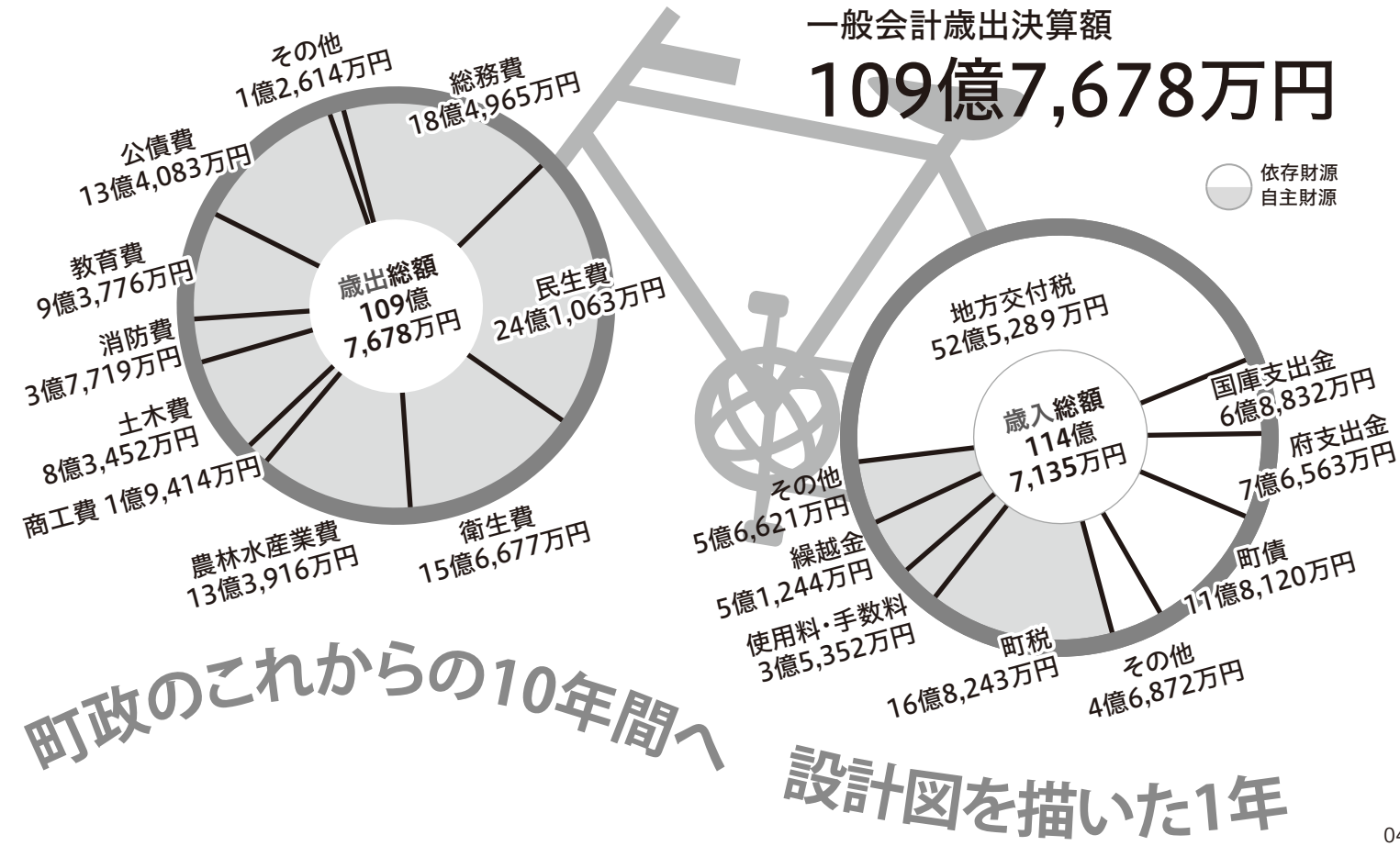
健全化判断比率

単位:%

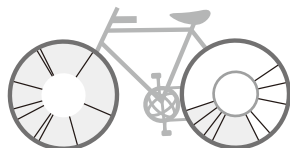
	本町の算定結果	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	該当なし	14.04	20.00
連結実質赤字比率	該当なし	19.04	30.00
実質公債費比率	14.2	25.0	35.0
将来負担比率	121.0	350.0	—

一般会計歳入決算額
114億7,135万円

一般会計歳出決算額
109億7,678万円



一般会計の主な使いみち



※各費目の主な事業を抜粋して掲載。
※金額は1万円未満四捨五入。

議会費 9,803万円

議会一般経費…7,564万円

総務費 18億4,964万円

一般管理経費…2,248万円
行政事務委託事業…633万円
区長会運営事業…898万円
番号制度導入事業…986万円
ふるさと応援寄附金事業…2,912万円
財産管理事業…2,049万円
庁舎管理事業…1,410万円
財政調整基金積立事業…1億6,226万円
地上権設定に係る賃借料…4,739万円
丹のまち広場うるおい館施設管理事業…632万円

新庁舎整備事業…1,197万円
新庁舎整備に向けた基本計画の策定などを実施

企画一般事業…666万円
「森の京都」博覧会開催や支所維持管理事業…2,592万円
支所財産管理事業…1,328万円

JR和知駅舎の改修などを実施

グリーンランドみずほ管理運営事業…2,087万円
町営バス運行事業特別会計繰出金…7,040万円

交通対策一般事業…1,177万円
コミュニティー助成事業…1,500万円
地域交流等拠点整備事業…1億8,991万円

京丹波町わち地域交流拠点施設「わち夢広場」を整備

行政情報システム運用管理事業…9,366万円
男女共同参画推進事業…633万円

第2次男女共同参画計画の策定や講演会の開催など

地域資源活用推進事業…2億6,578万円
税務総務事業…916万円
賦課徴収事業…2,169万円

京丹波町地域熱供給施設を整備

固定資産宅地評価見直し事業…1,314万円
戸籍電算システム事業…1,060万円
参議院議員通常選挙執行事業…1,499万円

民生費 24億1,063万円

民生児童委員活動事業…1,049万円
社協職員設置事業…5,524万円
国保会計繰出事業…1億8,099万円
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業…8,212万円
簡素な給付措置給付金給付事業…1,962万円
障害者福祉一般経費…729万円
共同作業所入所訓練事業…2,392万円
重度心身障害老人健康管理事業…2,617万円

民生委員・児童委員、主任児童委員を一斉改選

心身障害者医療事業…5,726万円
自立支援医療給付事業…2,313万円
障害者自立支援事業…3億5,321万円
地域生活支援事業…4,116万円
老人医療事業…2,807万円
シルバー人材センター事業…703万円
介護保険事業特別会計繰出事業…2億7,503万円
在宅高齢者等生活支援事業…2,501万円
京都府後期高齢者医療広域連合事務事業…2億8,648万円

在宅障がい者の訪問入浴サービスを開始

老人保健施設サービス勘定繰出事業…8,720万円
介護施設等整備事業…1,844万円
すこやか子育て医療費助成事業…1,809万円
京都子育て支援医療助成事業…766万円
すこやか子育て祝金事業…700万円
子育て支援一般経費…715万円
児童手当支給事業…1億6,874万円
障害児通所給付費等事業…1,324万円
ひとり親家庭医療費助成事業…872万円
保育所運営事業…5,620万円
保育所施設管理事業…3,273万円
保育所給食事業…3,548万円

衛生費 15億6,677万円

保健衛生一般経費…1,420万円
母子保健事業…870万円
健康増進事業…739万円
特定健康診査等事業…1,400万円
後期高齢者健康診査事業…761万円
その他健康診査事業…4,243万円
予防接種事業…3,039万円
環境保全対策事業…641万円
合併浄化槽設置整備事業…509万円
浄化槽市町村整備推進事業繰出金…4,944万円
南丹病院組合負担金…1,643万円
病院事業運営補助金…3億4,161万円
保健センター管理事業…1,586万円
衛生管理組合事業…1億7,816万円
し尿処理事業…1億250万円
水道事業特別会計繰出事業…6億904万円

マタニティ・産後ヨガ教室を開始

ピロリ菌検査対象年齢を19歳以上に引き下げ

労働費 5万円

労働行政一般経費…5万円

農林水産業費 13億3,916万円

農業委員会運営事業…1,177万円
農業振興事業…2,794万円
中山間地域等直接支払事業…1億1,097万円
水田農業構造改革対策助成事業…2,496万円
農業公社運営補助事業…2,730万円
特別栽培米産地づくり事業…840万円
多面的機能支払交付金事業…9,844万円
京都・丹波食彩の工房管理運営事業…760万円
有害鳥獣対策事業…8,645万円
経営所得安定対策等推進事業…623万円
認定農業者等確保・育成事業…1,595万円
京力農場プラン事業…931万円
明日のむら人移住促進事業…557万円
中山間地域特産物生産応援事業…713万円
青年就農給付金事業…1,800万円
明日の「京都村」づくり事業…760万円
6次産業向け体制整備事業…653万円
畜産振興対策事業…1,044万円
鳥インフルエンザ発生農場跡地活用事業…6,280万円
農地保全事業…1,569万円
土地改良施設維持管理適正化事業…655万円
農業集落排水事業繰出金…2億759万円
土地改良施設維持管理事業…1,722万円
山村開発センター管理事業…780万円
CATV施設管理事業…2億422万円
林業振興対策事業…809万円
公有林整備事業…2,693万円
林道維持管理事業…1,000万円
木材搬出奨励事業…566万円
森林管理道開設事業…5,930万円
美しい森林づくり基盤整備交付金事業…600万円
豊かな森を育てる交付金事業…1,139万円

集落営農組織や農家組合などが導入する機械・施設整備などに補助金を交付

有害鳥獣被害防止のための施設整備や捕獲報奨金による有害鳥獣駆除を推進

安井地区の旧鶏舎棟や基礎コンクリート・大型備品類などを解体撤去

森林資源量解析システムを活用した町有林(安栖里鐘打山)の皆伐、原木運搬、売り払いなどを実施

豊かな森を育てる府民税による市町交付金を活用し、障がい者就労支援のための薪割機購入など

商工費 1億9,414万円

商工業振興事業…2,534万円
鐘乳洞公園管理運営事業…1,115万円
観光施設管理運営事業…2,655万円
観光振興事業…830万円
ウッディパルわち管理事業…509万円
京丹波味夢の里管理運営事業…1,441万円
京丹波まるごと交流型観光推進事業…1,452万円
京丹波町口ケ地誘致事業…2,098万円
和知力醸成によるにぎわいとふるさと創生事業…866万円

京丹波町ロケーションオフィスの設立準備やロケ誘致への取組みを実施

土木費 8億3,452万円

道路橋梁維持管理事業…5,485万円
雪寒道路維持事業…2,424万円
交通安全施設設置事業…518万円
道路新設改良事業…3億7,294万円
河川維持管理事業…2,652万円
都市公園施設管理事業…1,099万円
公共下水道事業繰出金…2億2,538万円
町営住宅維持管理事業…1,902万円
住宅改修補助金交付事業…609万円

町道小野線他15路線の改良工事を実施

消防費 3億7,719万円

京都中部広域消防組合負担金…2億7,911万円
消防団活動運営事業…6,851万円
消防施設維持管理事業…1,013万円
消防施設整備事業…508万円

教育費 9億3,776万円

事務局一般経費…1,054万円
学校指導主事設置事業…592万円
学童保育事業…1,374万円
小学校一般管理事業…2億8,656万円
小学校教育振興一般事業…1,245万円
児童扶助事業…546万円
小学校スクールバス事業…862万円
小学校学習支援教員等配置事業…1,442万円
中学校一般管理事業…7,023万円
中学校教育振興一般事業…3,060万円
生徒扶助事業…776万円
中学校スクールバス事業…912万円
語学指導等外国青年招致事業…809万円
中学校学習支援教員等配置事業…858万円
幼稚園管理一般事業…1,259万円
公民館管理運営事業…3,174万円
図書館活動事業…655万円
体育施設維持管理事業…1,400万円
学校給食事業…1億9万円

体育館の非構造部材耐震化工事や各教室への空調施設整備などを実施

体育館などの非構造部材耐震化工事などを実施

災害復旧費 2,806万円

河川等災害復旧事業…2,693万円

公債費 13億4,083万円

元金…12億1,070万円
利子…1億3,014万円

京丹波町職員の給与の状況を公表します。

京丹波町職員の給与は、「京丹波町職員の給与に関する条例」など関係諸規定の定めるところにより支給されています。本年度における職員の給与などの状況について、広く町民の皆さまに知っていただくため、そのあらましをお知らせします。

なお、ここに公表する職員の給与は、いわゆる「手取り額」ではなく、すべて税金や社会保険料などを差し引く前の額です。

1 人件費の状況

平成28年度決算(普通会計)における人件費及び人件費率は次のとおりです。なお、この人件費には、特別職に支給された給与及び報酬を含みます。

【第1表】人件費の状況(平成28年度:普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)
平成28年度	14,790人 (平成29年3月31日現在)	110億617万4千円	2億4,320万円	17億4,011万4千円	15.81%

注)①普通会計とは、一般会計・町営バス特別会計・土地取得特別会計・育英資金給付事業特別会計の合計を指します。
②実質収支とは、歳入歳出差引額から、翌年度に繰り越された事業に充当すべき財源を除いた決算額をいいます。

2 職員給与費の状況

平成29年度当初予算(普通会計)に計上された一般職員の給与費および一人当たりの給与費は第2表のとおりです。

【第2表】職員給与の状況(平成29年度:普通会計当初予算・一般職員給のみ)

区分	職員数(A)	給料	職員手当(期末・勤勉手当を含む)	合計(B)	一人あたりの給与費(B/A)
平成29年度	203人	7億2,283万7千円	4億1,074万7千円	11億3,358万4千円	558万4千円

【第3表】部門別職員数の推移

区分	職員数(人)		対前年増減数(人)	
	平成28年度	平成29年度	増減	
一般行政 (福祉関係を除く)	議会	3	3	0
	総務	56	56	0
	税務	12	12	0
	農林水産	16	15	△1
	商工	5	5	0
	土木	13	13	0
小計	105	104	△1	
福祉関係	民生	51	50	△1
	衛生	18	18	0
	小計	69	68	△1
一般行政計	174	172	△2	
特別行政	教育	25	25	0
	小計	25	25	0
公営企業など	病院	48	49	1
	水道	8	9	1
	下水道	4	3	△1
	その他	18	17	△1
	小計	78	78	0
総合計	277	275	△2	

(平成29年度地方公共団体定員管理調査より抜粋)

注)職員数は、一般職に属する職員です。(地方公務員の身分のある休職者や派遣職員も含みます)

【第4表】級別職員数の状況

(平成29年4月1日現在・行政職給料表の適用を受ける職員)

一般行政職などの給料月額、6の級で構成される行政職給料表を適用することにより支給されています。それぞれの級の標準的な職務分類、職員数および構成比は表のとおりです。

(医師、医療技術員、看護師などは、医療職給料表(一)(二)(三)を適用しています)

区分	標準的な職務分類	職員数	構成比
1級	主事補・技師補・主事・技師	20人	9.05%
2級	主事・技師	31人	14.03%
3級	主査・係長・主任	104人	47.06%
4級	課長補佐・主幹	41人	18.55%
5級	課長・会計管理者	21人	9.50%
6級	参事・総括課長	4人	1.81%
合計		221人	100.00%

注)職員数は、「行政職給料表」の適用を受ける職員で、給与条例に基づく給料表の級区分によるものです。

【第5表】職員の平均給料月額・平均年齢・平均経験年数(各年4月1日現在)

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均年齢	平均経験年数	平均給料月額	平均年齢	平均経験年数
平成29年度	305,000円	42歳6月	20年9月	305,600円	52歳1月	31年1月
平成28年度	303,700円	42歳1月	20年6月	303,200円	51歳1月	30年1月

【第6表】職員の初任給の状況(一般行政職:平成29年4月1日現在)

区分	初任給			採用2年経過日の給料月額		
	大学卒	短大卒	高校卒	大学卒	短大卒	高校卒
京丹波町	178,200円	158,800円	146,100円	190,100円	170,300円	154,500円
国	178,200円	158,800円	146,100円	190,100円	170,300円	154,500円

【第7表】職員手当の状況(平成29年4月1日現在)

区分		京丹波町	国
扶養手当	配偶者	10,000円	本町と同じ
	子	8,000円	
	16歳から22歳までの子の加算(1人につき)	5,000円加算	
	配偶者・子以外	6,500円	
	単身	10,000円	
住居手当	借家	家賃額に応じて27,000円を支給限度として支給	本町と同じ
通勤手当	交通機関利用者	運賃など相当額(55,000円が支給限度)	本町と同じ
	交通用具利用者	片道2km以上で5kmごとに定める定額(60km以上31,600円が支給限度)	本町と同じ

期末勤勉手当(平成29年度)

区分	京丹波町の支給率			国の支給率		
	期末手当	勤勉手当	計	期末手当	勤勉手当	計
6月期	一般職	1.225月分	0.85月分	2.075月分	本町と同じ	
	管理職	1.025月分	1.05月分			
12月期	一般職	1.375月分	0.85月分	2.225月分		
	管理職	1.175月分	1.05月分			
計	一般職	2.6月分	1.7月分	4.3月分		
	管理職	2.2月分	2.1月分			

注)職制上の段階・職務の級などによる加算措置があります。

退職手当

区分	京丹波町		国	
	勤続	自己都合	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	本町と同じ	
勤続25年	29.145月分	34.5825月分		
勤続35年	41.325月分	49.59月分		
最高限度額	49.59月分	49.59月分		
その他の加算		定年前早期退職特別措置(2~45%加算)		

注)京丹波町は、京都府内のほとんどの市町村が加入している「京都府市町村職員退職手当組合」の条例に基づいて支給されます。

【第8表】特別職の報酬などの状況(平成29年度)

区分	給料月額・支給率	
	10%減額後	(減額前)
給料	町長	675,000円 (750,000円)
	副町長	558,000円 (620,000円)
	教育長	504,000円 (560,000円)
報酬	議長	300,000円
	副議長	230,000円
	議員	210,000円
期末手当	町長・副町長・教育長	6月期 1.55月分(10%減額支給)
		12月期 1.65月分(10%減額支給)
		計 3.2月分(10%減額支給)
	議長・副議長・議員	6月期 1.55月分
		12月期 1.65月分
	計 3.2月分	

【第9表】給与の削減措置などの状況(平成29年度)

現在の厳しい財政状況を考慮し、臨時、緊急の措置として次のとおり削減措置などを講じています。

職員区分	措置内容	施行期日	
特別職	町長・副町長・教育長	給料・期末手当10%減額	平成18~29年度
特別職	議会議員	・議員が町の付属機関の委員などに就任した場合に受ける報酬の廃止 ・本会議および委員会出席費用弁償の廃止	平成20年7月から
一般職	管理職	管理職手当10%減額	平成19~29年度
特別職・一般職	全職員	・旅費の支給基準の見直し ・府内出張の日当の廃止 ・借上車賃の単価の見直し	平成19年度から

注)時間外勤務手当の抑制のため、「ノー残業デー」の導入や、休日出勤・代休制度の見直しを図っています。

高齢者福祉

京丹波町介護相談員の派遣開始 より良い介護サービス 魅力ある介護職場づくりをめざして

本町で介護相談員となる4人が9月22日、瑞穂保健福祉センターで委嘱状の交付を受けました。介護相談員は、介護サービス事業所を訪問し、利用者がサービスに対して感じている疑問や不安などを把握し、事業所へ気づきや提案を伝えます。事業所は客観的な視点をサービスの質の向上や介護職場の改善に生かします。

介護相談員派遣等事業は介護保険制度に位置づけられている事業の一つ。介護保険のサービスに関する苦情は、市町村や国民健康保険団体連合会が受け付け、必要に応じて調査・指導にあたりますが、トラブルが起きた際の事後処理が中心となります。介護相談員の目的は、苦情申し立てに至るほど問題が大きくなりないうちに解決を図ることにあります。本町では平成27年度に実施した事業所の聞き取り調査において、介護サービスの改善策を模索する声を

うけ、介護相談員設置の準備を進めてきました。

公募で集まった4人は、今年8月から9月にかけて全国研修カリキュラムにもとづく現場実習や座学などを修了。交付式後の懇談では、「難しい役割だと思うが、関係機関に相談しながら活動したい」「相談員の活



左から西村浩子さん(口八田)、福井美恵子さん(本庄)、坂本要子さん(豊田)、中安幸代さん(富田)

動が介護サービスの改善につながれば」と思いを交わしました。今後、町地域包括支援センターを事務局に、相談員の派遣を希望する事業所との連絡調整を図りながら

男女共同参画

「きらりセミナー2017」開催 平常時から男女共同で防災の備えを

男女共同参画を推進する京丹波町きらりネットワークの会が9月9日、和知ふれあいセンターで「きらりセミナー2017」を開催。町内外の約80人が参加し、日頃の男女共同参画の推進が防災・復興の基盤になることを学びました。

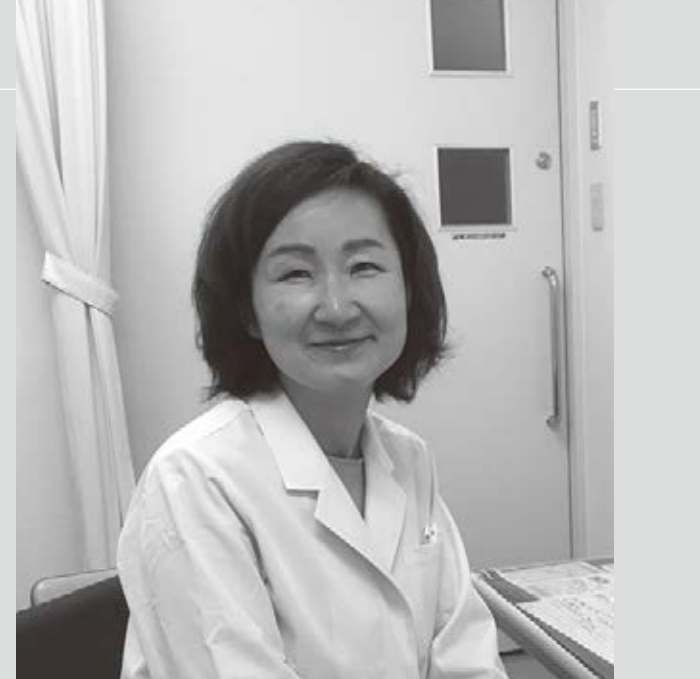
セミナーは、町総務課危機管理室の北村和正室長が、過去の豪雨被害や京都府の地震被害想定調査結果などから想定される災害について説明。また、男女で災害から受ける影響が違ふことや育児や介護に必要な物資が不足しやすいことに触れ、「平常時から女性が意思決定の場へ積極的に参画し、多様な視点で配慮のある対策を整える

活動を進めます。事務局では、「派遣を受ける事業所にとっては新たな活気を生むきっかけとなり、介護職の人材確保にもつながれば」と考えています。

ことが重要」と呼びかけました。参加者は、「災害対応は男性主体と思いがちだが、協働を意識するよい機会になった」と感想を寄せました。



防災ポケットガイドを広げ、知識を深める参加者



京丹波町病院小児科 ぜん ゆ い 全 有 耳 医師



いきいき健康術 第122回

町立病院診療所の医師や専門職員が健康情報をお届けします。

『寝る子は育つ。今一度、睡眠習慣の見直しを』

で11~13時間、6~12歳で10~11時間くらいと言われています。意外と長いと感じられた方も多いのではないのでしょうか。個人差はありますので、わが子がどれくらいの睡眠が必要かを親が把握していることが大切です。

早寝早起き習慣のために心がけたいことは以下のとおりです。

早寝早起きのために心がけたいこと

- ①就寝時間の1時間前までにはメディア機器との接触はさけ、部屋の明かりを少し暗くする。(過剰な刺激は脳の覚醒につながります)
- ②朝起きたら部屋のカーテンを開け、朝陽を浴びる。(体内時計の働きが良くなります)
- ③朝食をしっかり食べる。(しっかり覚醒して日中に活動することが、生活リズムの確立には重要です)

最後に、子どもにも「睡眠障害」といわれる病気があります。気になることがある場合には医師にご相談ください。

京丹波町病院 電話0771-86-0220
町立医療施設の敷地内は全面禁煙です。
ご理解とご協力をお願いします

幼少期に安定した睡眠習慣を

大人にとっても子どもにとっても睡眠が重要であることには変わりはありませんが、自分では行動のコントロールがまだできない幼い子どもにとっては、大人が意識して生活リズムを整えてあげることが大切です。



日本の子どもは他の先進国の子ども達と比べ、平均睡眠時間が短いことがわかっています。幼少期に安定した睡眠習慣がない場合には、行動の問題や認知機能の問題のリスクが高まるという報告もあります。また、子どもの遅寝の習慣には家族の生活習慣が関連しているという結果もあり、家族全体で睡眠習慣を見直すことが大切です。

12歳までに必要な睡眠時間とは

それでは子どもに必要な睡眠時間はどれくらいでしょうか。1~3歳で12~14時間、4~5歳



熱心に聞き入る参加者



ミニ駅伝でチームワークを見せた丹波支部チーム



「真剣に聞いてもらえてうれしい」と生徒たち



味夢くんの体をつくる7種類の農産物を次々と回答

西河内区敬老会で防犯教室
安心安全に長生き
 西河内区敬老会は9月18日、西河内集落センターに70歳以上の住民が集い、ステージ発表やゲームを楽しみました。また、安心・安全に生活できるよう、篠原駐在所の平井勝也巡査から交通安全や防犯の心得を学びました。平井巡査は、駐在所管内で発生している交通事故に触れ、運転時の注意を呼びかけ、特殊詐欺被害の防止を替え歌で紹介。参加者は熱心に聞きました。

第33回全京都車いす駅伝競走
町 身体障害者福祉会が健闘
 第33回全京都車いす駅伝競走大会が9月3日、府立丹波自然運動公園陸上競技場を発着点に開催。町身体障害者福祉会は府立林業大学校職員とチームを編成し、9.3キをつなぎました。事前の申告タイムとの誤差を競うミニ駅伝は、計11チームが参戦。同会丹波支部チームが優勝し、アンカーの森田隆男さん(豊田)は、「感覚を頼りに時間調整した。緊張したがチームの皆と頑張った」と笑顔で飾りました。

ハーマニーを地域へ
和 和知中学校の総合学習で合唱
 和知中学校の総合学習で合唱に取り組む生徒らが9月18日、わち林業センターで開かれた本庄区敬老祝賀会で澄んだ歌声を贈りました。生徒らは、地域貢献として公共施設や地域行事などで練習の成果を発表しており、「観客の反応が良い刺激となり意欲につながっている」と同中の松山七織支援員。この日は、唱歌のメドレーやポップスを披露し、会場の約100人が手拍子を取って声を合わせたりしました。

丹波ひかり小3年生の総合学習
 丹波ひかり小学校3年生が9月7日、食のキャラクター味夢くんを教室に招き、まちの特産物について学びました。農林振興課職員が地元産の特長や一部の農産物の生産面積が5年間で半減していることを説明すると、児童らは驚きの声を上げ、「京丹波の食べ物の良さをたくさん教わった。作る人が減ってどうしたらよいか、これからの勉強で考えたい」と意欲を見せました。

町 体力、技術の向上をめざして
町 ホッケー教室で元プロ選手の指導
 町教委主催のホッケー教室は9月16日、グリーンランドみずほで開催。町内の中学校ホッケー部員やホッケースポーツ少年団が、元プロ選手で実業団チームなどを指導する出口傑さん(新潟市)の指導を受けました。参加者は、考えながら競技する訓練やシュート練習などに積極的に臨みました。また、京都トレーニングセンターの指導員から筋力をつける訓練方法なども習いました。

井 心安らぐ昭和の里山風景
井 上辰夫画伯の絵画恵贈に感謝
 水原区に住み、日吉ダム建設で水没する天若地区などを描いた画家、井上辰夫さん(大正5年〜平成9年)の作品が9月21日、長女の松井信子夫妻(水原)の申し出により京丹波町病院へ寄贈されました。作品はかやぶき民家のある風景画。「父が病院でお世話になった。懐かしい風景が雰囲気合うと思った」と松井さん。垣田秀治院長は「気持ちがあらぐ作品。大切に保存したい」と喜びました。

長寿を喜び
米 寿・百歳・百歳以上にお祝い
 本町では9月の敬老の日になみ、88歳(米寿)140人、百歳4人、百歳以上17人へ、感謝と敬意を込めて祝金などを贈呈。百歳には、寺尾豊爾町長と上條正和京都府南丹広域振興局副局長が手渡しました。升谷・甘露寺の樋口道雄さんは時折、寺の行事に出席するなど健在。百歳の祝いを受け、「皆にお世話になって

蒲生野中・瑞穂中ホッケー選手ら
夏の健闘結果を報告
 町内中学校のホッケー部代表が9月1日、町理事者に第47回全日本中学生ホッケー選手権大会などの結果を報告しました。全日本大会の予選となる近畿大会は8月5日・6日、グリーンランドみずほで行われ、瑞穂中女子が準優勝、蒲生野中男子が3位に入賞。8月18日から大分県玖珠町・九重町で行われた全日本大会で蒲生野中男子がベスト16、瑞穂中女子がベスト8へ進みました。瑞穂中の山下天海さんは「応援をいただき良い状態で臨めた。これからも頑張りたい」と感謝しました。



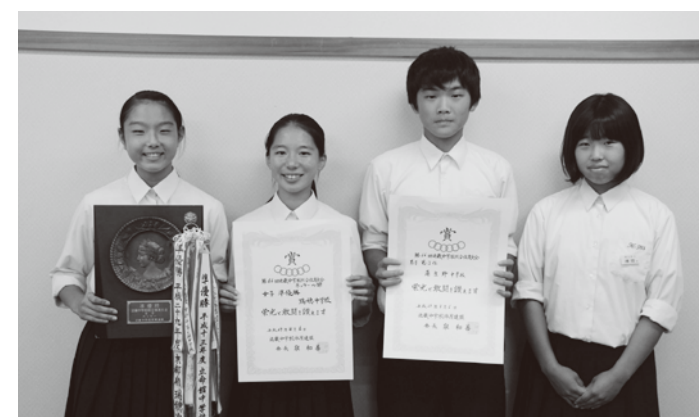
元プロ選手の出口さん(中央)に習う子どもたち



里山の暮らしが伝わってくる作品「柿の木のある風景」



祝状を手に微笑む樋口さん



左から、島中千穂さん(瑞穂中)、山下天海さん(瑞穂中) 原澤大生さん(蒲生野中)、徳岡莉菜さん(蒲生野中)



大会新記録、続々と

いきいきシルバーオリンピック



満60歳以上のスポーツ記録会「京丹波町いきいきシルバーオリンピック」は9月30日、グリーンランドみずほで開催。40人が国の新体力テスト基準にもとづく記録認定種目や体力測定コーナーで、体力試しや自己記録の更新に挑戦しました。

最高齢参加者の中村定男さん(90歳・井尻)は、「運動が好きで何にでも参加している」とのこと。50メートル走の60〜64歳部門で7秒27の大会新記録を出した加藤明さん(実勢)は、現在もサッカーチームに所属。「目標は7秒を切る」と意気込みます。同じく70〜74歳部門で大会記録を更新した山口光明さん(下山)は「運動の習慣はないが午後3時のラジオ体操や意識して早く歩くようにしている」とのこと。今回、2種目で計4人が大会記録を更新しました。町スポーツ推進委員会の片田泰和副委員長は閉会で、「階段で足を上げるなど少し意識することで体力が違ってくる。来年もぜひ挑戦してほしい」と送り出し、参加者らはすがすがしい笑顔で各々の記録を持ち帰りました。



双子ナスすくすく
畑の夏野菜ファミリー秋迎える

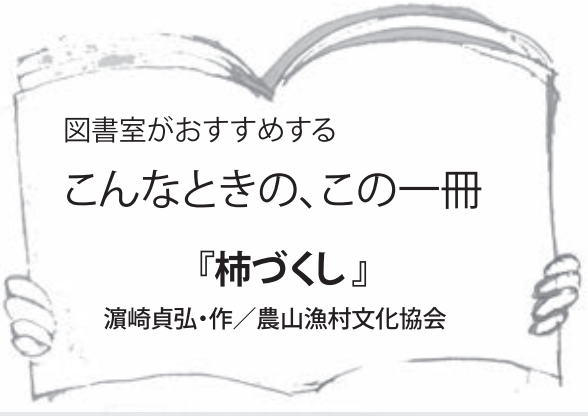
下粟野の川辺ヤエノさんの畑で9月中旬、1つのヘタに2つのナスが成長した『双子ナス』が実りました。双子ナスは低温や多肥などが重なって花芽分化時に栄養過剰になったときに発生するといわれています。川辺さんは、双子ナスと同じ木に実った大きめのナスを父母に見立て、毎日『ナス家族』の成長を見守ってきました。「ささやかな楽しみができたことに感謝している。宝ができたよう」と喜びました。



農林振興課 栗林課長

楽しい野菜作りをこれからもがんばってください!

お茶の間



子どもの頃は、先を割った竹の棒で柿を採り、おやつ代わりに食べたものですが、今は昔ほどは食べなくなり、熟して木から落ちてしまっています。そんな柿をムダなく使い切る一冊。2週間足らずでできる柿渋、柿渋染め、干し柿、酢柿、柿ジャムなどさまざまな柿の使い方を紹介しています。食べて美味しいのはもちろん、衣食住で役に立つ柿の魅力をお楽しみください。(中央公民館図書室:湯浅真弓さん)



図書室がおすすめする
こんなときの、この一冊
『柿づくし』
濱崎貞弘・作/農山漁村文化協会

図書室ご案内 中央公民館(蒲生)、山村開発センターみずほ(大朴)、旧梅田保育所(鎌谷下)、三ノ宮基幹集落センター、質美振興センター、和知ふれあいセンター(本庄)
貸出期間 2週間 1回の貸出冊数 1人5冊まで

ふるさと応援寄付金のお礼 *敬称略

前田博昭	1万円
大倉沙織	1万円
大西寿典	1万円
木下雅彦	1万円
片山山治	10万円

*掲載内容は寄付者の了解を得ています

義援金などの受付状況

熊本地震災義援金	2,005,983円
福島県双葉町復興支援募金	7,426,227円

(平成29年9月30日現在)

チャレンジ! 頭の体操クイズ

次の□に当てはまるカタカナは何でしょうか?

3□-□=36

(ア=ア イ=イ ウ=ウ エ=エ オ=オ)

わたしたちの町

人口	14,649 (-23)
男	6,950 (-19)
女	7,699 (-4)
世帯数	6,370 (0)

10月1日現在/()は前月比

「こんにちは赤ちゃん」投稿募集
(対象者)町内在住の生後1歳未満のお子さま
(申込方法)お子さまの顔写真に申込書を添えて、役場または支所まで、持参・郵送・メールのいずれかで届けてください。申込書は役場本庁、支所、瑞穂保健福祉センターにあります。【問】京丹波町企画政策課
電話0771-82-3801 Eメール kikaku30@town.kyotamba.lg.jp



上和知中部村おこし委員会主催
星空と芝生の映画祭



夜の帳とぼりに包まれ
物語の世界へ

「芝生の映画祭」は9月30日、夜の帳を暗幕代わりに、篠原の芝生広場で開演。約130人が集まり、旧和知第二小学校舎をフレームに、物語は静かに始まりました。

上和知中部村おこし委員会は、今年4月に交流拠点として生まれ変わった同地が、町民に愛される交流拠点になることを願って企画。京丹波町ロケーションオフィスの協力で、家族愛を描いた作品「湯を沸かすほどの熱い愛」(2016年制作・宮沢りえ主演)を上映しました。

開演を待つ間、「村おこしカフェ」が開かれ、家族や友人などと訪れた人は、作りたての石窯ピザやポップコーンなどを味わい、「屋外での食事もうしぶりで新鮮」と話に花を咲かせました。

一味違う世界観を味わえる星空の下の映画鑑賞。あなたの地域でも試してみませんか。